

# 協同

[特集] 内部監査を通じた改善提案  
業務効率化のためのコンサルティング機能の発揮

2022  
Apr  
KYODO 4

兵庫の農業人  
Hyogo-nougyoujin



タッグ!兵庫の農業人

畜産クラスター事業を活用し、  
農業生産の拡大と循環型農業に取り組む

FARMER × JASTAFF  
岸本 壮弘さん  
石原 聖也さん  
詳細は  
裏表紙へ

# 兵庫の農業人

生産者の皆さんとタッグを組んだ  
多様な営農活動を紹介します。

タッグの様子は動画でも配信中! ▶

▶ YouTube で 兵庫の農業・農協発信ch 検索



今月は JAハリマ

## 畜産クラスター事業を活用し、農業 生産の拡大と循環型農業に取り組む



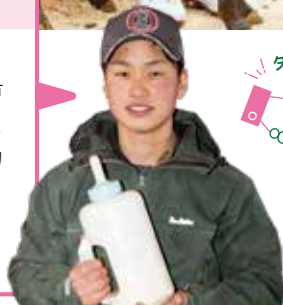
子牛の鼻紋採取を行う岸本さん(左)と石原さん

### 生産者

肉用牛繁殖農家

### 岸本 壮弘さん

繁殖牛の頭数をさらに増やし、JAハリマ地域を但馬牛、神戸ビーフの名産地としたいです! また、繁殖・肥育経営ともに力を入れ、牧場での一貫経営を目指します!



### JA職員

JAハリマ 経済部  
一宮営農経済センター

### 石原 聖也さん

緑豊かな森林に取り囲まれた環境の中で飼育・栽培されたJAハリマ産の但馬牛や水稲、黒大豆といった農畜産物をもっとPRしてJAハリマの特産品を全国の人に知ってもらえるよう頑張ります!



JAハリマでは、繁殖・肥育牛等の生産拡大へ向けて、地方公共団体などの関係機関と連携した畜産クラスター事業等の補助事業により、組合員の牛舎設備とJAの堆肥センターを改築し、飼養頭数の増加に取り組んでいる。

JAハリマ地域の最北部に位置する宍粟市波賀町の「岸本牧場」では、岸本壮弘さんが父親とともに牛の繁殖・肥育を手掛けている。岸本さんは、祖父の代から続く牧場を引き継ぐことを決意し、3年前に就農した。現在、繁殖牛84頭、肥育牛60頭を飼育する岸本牧場は、2018年に牛舎を増築して飼養頭数を大きく増やした。牛舎増築を支援するため、JAハリマ経済部一宮営農経済センターの石原聖也さんをはじめ、JA、県・市など関係機関と連携し、国庫補助事業・畜産クラスター事業の活用に取り組んだ。

石原さんは5年前から畜産業務を担当しており、畜産農家を巡回して子牛の出生から登録、販売まで幅広くサポートを行う。岸本さんは、「就農したときから関係のあるJA職員であり、こまめに牛舎を訪れてもらえるため何

も気軽に相談できる関係だ」と話す。

また、JAハリマでは、同クラスター事業を活用して4年前に堆肥センターを改築し、牛糞堆肥を活用した循環型農業に取り組んでいる。畜産農家から持ち込まれた牛糞を原料として製造した堆肥「ネオコンポ」の普及によって耕畜連携による循環型農業を提案する。石原さんは「JAが耕種農家や畜産農家のパイプとなり地域農業の振興につなげるのが目標だ。その上でJAハリマの環境を活かした農畜産物の特産化を目指していきたい」と話す。

JAハリマでは、今後も地域一体となって農業生産の拡大と循環型農業の普及に取り組む。

### JAハリマの繁殖・肥育牛の生産拡大と耕畜連携の取り組み

JAハリマや畜産農家、地方公共団体等が連携した畜産クラスター事業の活用により、牛舎と堆肥センターを改築して、地域一体となって飼養頭数の増加や耕畜連携に取り組む。

子牛市  
出荷頭数 (平成30年度) 69頭 ▶ (令和3年度) **123**頭